

島根県宍道湖におけるハイイロペリカンの初記録

脇坂英弥¹・野津登美子²

1. 〒 699-0502 島根県簸川郡斐川町荘原町 2936-1-2020

2. 〒 693-0051 島根県出雲市小山町 457-5

ハイイロペリカン *Pelecanus crispus* はヨーロッパ東南部から中央アジア、インド、東南アジア、モンゴル西南部、中国で繁殖し、一部はスマトラ島、ボルネオ島、フィリピンで越冬する。日本では、千葉、茨城、福岡、鹿児島県、石垣島などで希に迷鳥として記録されている(高野 1981)。筆者らは 1998 年 4 月 19 日、宍道湖 (35°26'N, 132°52'E) において島根県ではじめてハイイロペリカン(亜成鳥)を観察したので報告する。

宍道湖の西岸は、斐伊川から流入する土砂により大きな砂州ができ、水鳥類の休息場所となっている。ハイイロペリカンは、最初に観察された 4 月 19 日から 20 日早朝にかけて、この砂州で休息していた。体の上面がところどころ茶褐色の混じるつやのない灰色で、下面は灰白色、初列風切は黒色、次列風切は灰褐色をしており、足が黒味をおびた鉛色であったことからハイイロペリカンの亜成鳥と判断した。砂州にはセグロカモメ *Larus argentatus*、オオセグロカモメ *L. schistisagus*、アオサギ *Ardea cinerea* が小群を成していたが気にするようすはなかった。20 日の 10 時ごろ、宍道湖から日本海の方へ飛び立ち、島根半島の北山山地の尾根を越えて姿を消したが、12 時には再び宍道湖の砂州で観察された。滞在期間中、宍道

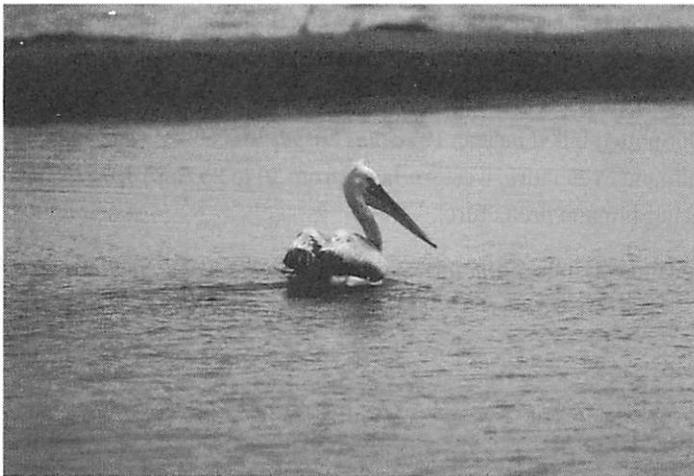


図 1. 宍道湖で観察されたハイイロペリカンの亜成鳥(1998 年 4 月 25 日).
Fig. 1. Sub-adult Spotted-billed Pelican *Pelecanus crispus* was observed at
Sinjiko Lake (25 April 1998).

1998 年 11 月 15 日 受理

キーワード：島根県、宍道湖、ハイイロペリカン

湖では採食行動は観察されなかったことから、日本海まで飛行し採食していたのかもしれない。ときおり湖岸のヨシ原に身を潜めることもあったが、おおむねは砂州で休息したり湖面を泳いだりしており、4月25日までの7日間、宍道湖に滞在していた。

なお今回、宍道湖で観察される以前に、古屋篤史（私信）は3月中旬に八重山でハイイロペリカンを観察し、また4月11日には山口県の阿知須干拓で観察されたという情報がある（秦智秋 私信）。よって本個体が北上してきた可能性が十分に考えられる。宍道湖は大陸に隣接することからハイイロペリカンが渡来する可能性は高く（茂田良光 私信）、今後の観察記録の増加が期待される。

最後になったが、本個体は写真により東京都葛西臨海水族園の福田道雄氏、山階鳥類研究所の茂田良光氏に同定していただいた。また古屋篤史氏、秦智秋氏には貴重な情報を提供していただいた。お世話になった方々に心から感謝する。

引用文献

- 高野伸二. 1981. ペリカン科, ハイイロペリカン. カラー写真による日本産鳥類図鑑. pp. 199-200. 東海大学出版会, 東京.

First record of the Spotted-billed pelican *Pelecanus crispus* from Shinjiko Lake, Shimane prefecture

Hideya Wakisaka and Tomiko Notsu

1. Syobara machi 2936-1-202, Hikawa cyo, Hikawa gun, Shimane 699-0502
2. Koyama cyo 457-5, Izumo shi, Shimane 693-0051

A sub-adult Spotted-billed pelican *Pelecanus crispus* was observed at Shinjiko Lake (35°26'N, 132°52'E), Shimane Prefecture, western Japan from 19 to 25 April 1998. This is the first record of this species in Shimane prefecture.

Key word: *Pelecanus crispus*, Shimane Prefecture, Shinjiko Lake, Spotted-billed Pelican